

年度/Academic Year	2024	
授業科目名/Course Title (Japanese)	情報システムのプログラムマネジメント	
教員名/Instructor (Japanese)	初田賢司	
講義概要/Course description		
<p>情報システム開発に限らず、現在の企業では、業務をプロジェクト型に移行することが多い。これは、定型化した仕事の繰り返しでは変化の早い現在のビジネススピードに追従できないことによる。本講義では、複数のプロジェクト型の業務を全体統合して効率よく運営し、ビジネスの価値向上に結びつけるプログラムマネジメントの知識を講義と演習により習得する。</p>		
達成目標/Course objectives		
<p>本講義を通して受講者に以下のような知識・能力がつくことを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト、プログラムの定義を説明することができる。</li> <li>・デジタルトランスフォーメーション(DX)における価値マネジメントの考え方を理解する。</li> <li>・プログラムマネジメントに必要なステークホルダーエンゲージメント、スコープマネジメントの考え方を理解する。</li> <li>・プログラムマネージャーとしてガバナンスを利かせる方法を理解する。</li> <li>・プログラムの計画時や実行時に適切なリスクマネジメントを講ずることができる。</li> </ul>		
授業計画/Lecture plan		
講義回		
1	プログラムマネジメントとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトマネジメントの潮流</li> <li>PPP(プロジェクト、プログラム、ポートフォリオ)マネジメントとは何か？</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムマネジメントとは何か？</li> <li>・プロジェクト・ポートフォリオマネジメントとは何か？</li> </ul>
3	プログラムマネジメントの現場	DX推進プログラムの実際（演習）
4		
5		プログラムマネージャーとしてガバナンスを利かせる。
授業方法/Method of instruction		
<p>ADPISA-Mの「価値を実現するためのプロジェクトマネジメント」の1日目を受講済み、もしくはPMIのPMP資格、情報処理試験のプロジェクトマネージャー資格などを有することを受講の前提条件とする。キャンパスでの対面講義として実施する。</p>		

成績評価方法/Evaluation

レポートによる評価

参考書/Reference books